

春季 県高校野球 第4日

青森県高校野球選手権は第1日の公団、八戸市探偵団野球場で準決勝2試合を行った。弘前学院監督は、初回一塁を空振り、八戸大に6-1で快勝。青森山田は同点で迎えた八回、野村が満塁本塁打を放ち、八学光星を7-3で破った。聖愛と青森山田はともに2010年以來の決勝進出で、東北大会の出場権を獲得した。最終日の29日は同球場で、聖愛と青森山田の決勝戦と、八戸大と八学光星の3位決定戦を行う。東北大会は6月20日から福岡で開催。本県からは聖愛と青森山田の2校が出場し、3校は補欠となる。（本紙取材班）

山田高・野村 満塁弾

2校東北切符／きょう決勝



【八学光星-青森山田】8回裏、青森山田1死満塁、野村が左越えに放った満塁本塁打で7-3と勝ち越し。捕手・文元=長根公園

光星打線つながらず

【評】青森山田は3-

3の同点で迎えた八回、森川の内野安打、馬場の二塁打、篠原の申告敬遠から1死満塁で野村が遊撃したが、八回に再逆した。八学光星は七回一打散った。一時はリードを奪ったが、すぐに追い付

は1安打を記録された。野村は、自分らのベースを奪った。先発の木村はつながらず力尽きた。六回まで1安打しかない好投。八回から難しかった。八学光星は七回一打散った。一時はリードを奪ったが、すぐに追い付